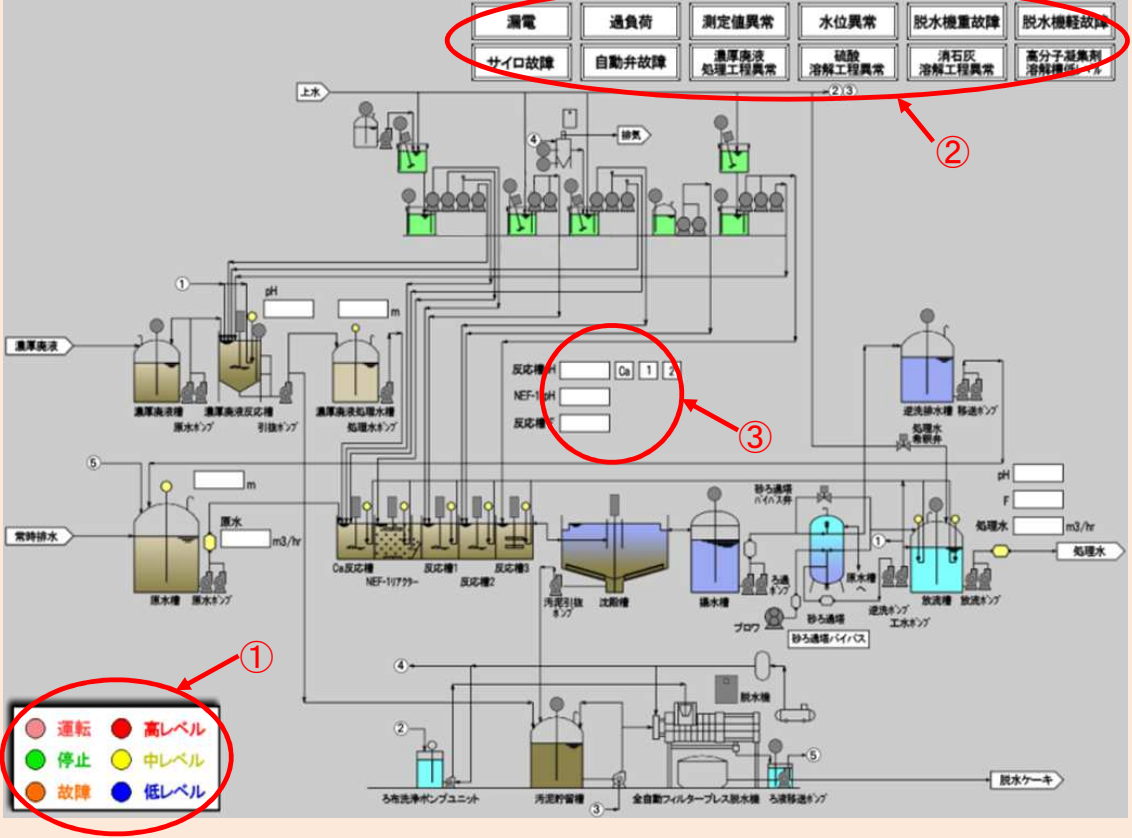


■ NEF-1法とハイエフN法の比較

|              | NEF-1法                       | ハイエフN法                                         |
|--------------|------------------------------|------------------------------------------------|
| 原水<br>フッ素濃度  | 20～5,000mg/L程度<br>(高濃度向き)    | (低濃度向き)                                        |
| 処理水<br>フッ素濃度 | 概ね排水基準(8mg/L)以下              | 排水基準(8mg/L)以下保証                                |
| 処理原理         | 新粒状担体によりフッ素とカルシウムとの反応を促進させる。 | カルシウムを添加後、フッ化カルシウムにならずに残存したフッ素を不溶化剤Fにより固定化させる。 |
| システム導入       | 新設向き                         | 新設向き・既設改造向き                                    |

■ 遠隔監視システム



☆24時間、全国どこからでも監視できます

- ①機器の運転状況が一目でわかります。
- ②警報の発生状況が一目でわかります。
- ③計装の指示値をリアルタイムで表示します。

従来のカルシウム処理の改善技術

# フッ素排水処理システム



 環境技研株式会社

本社 〒950-0962 新潟市中央区出来島2丁目10番12号  
TEL 025-284-0221  
FAX 025-285-7770  
<http://www.kankyo-giken.co.jp>  
[mail:info@kankyo-giken.co.jp](mailto:mail:info@kankyo-giken.co.jp) 担当 石山

環境ソリューション企業

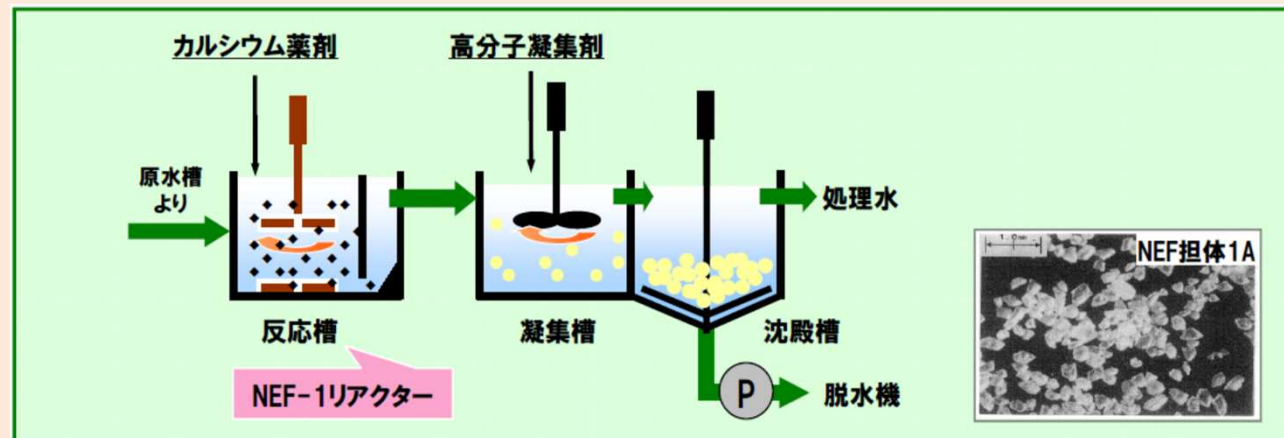
 環境技研株式会社

# フッ素を一段処理で排水基準8mg/L以下まで処理します

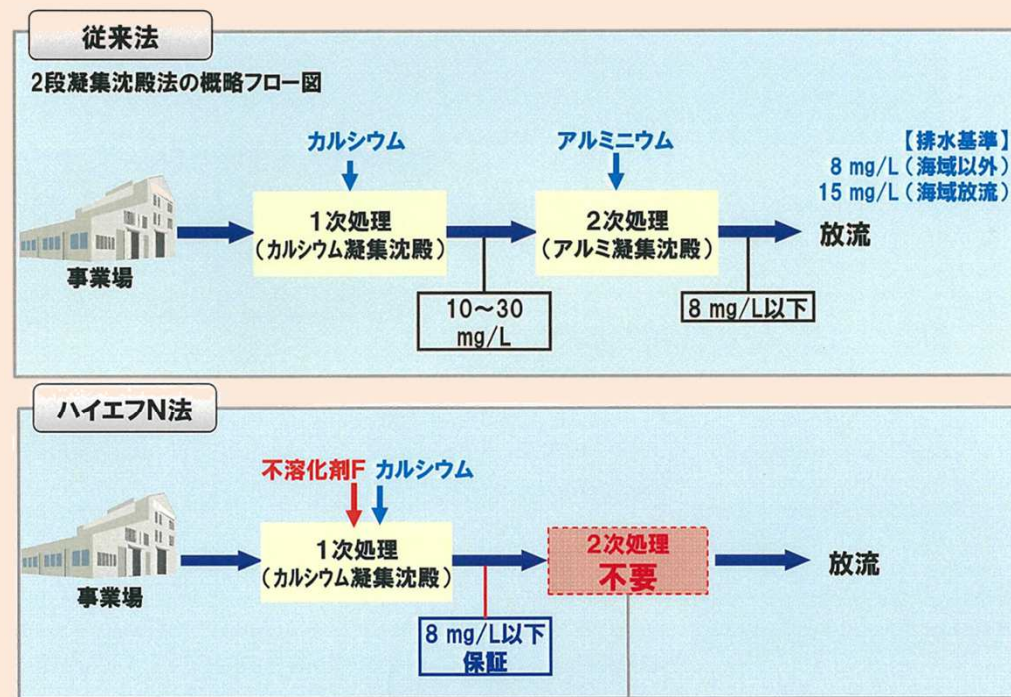
## ■処理効率改善システム NEF-1法 ※NECファシリティーズ(株)特許

従来法をベースとし、反応効率を向上させ、低コストかつ安定した処理性が得られる技術です。

- ・粒状担体(NEF担体1A)を反応槽内に分散させ、フッ素の反応効率を向上！
- ・原水濃度変動に対して安定した処理性を得ることが可能！
- ・処理効率の改善により、薬品使用量を低減！



## ■新フッ素排水処理技術 ハイエフN法 ※NECファシリティーズ(株)特許出願中



- 設備が1次処理だけだから、設備投資コストが安価です
- 当然、2次処理設備の設置スペースが不要となります

参考: <http://www.necf.jp/solution-service/eco/01-2.html>

従来、フッ素を排水基準の8mg/L以下まで確実に処理を行うためには、「2段凝集沈殿法」や「1段凝集沈殿+吸着法」など多段処理が行われていました。

ハイエフN法は、1次処理だけで排水基準をクリアできるため、2次処理設備や吸着塔など後段の処理設備が不要となります。そのためコストも設置スペースも、従来法に比べて少なく済みます。

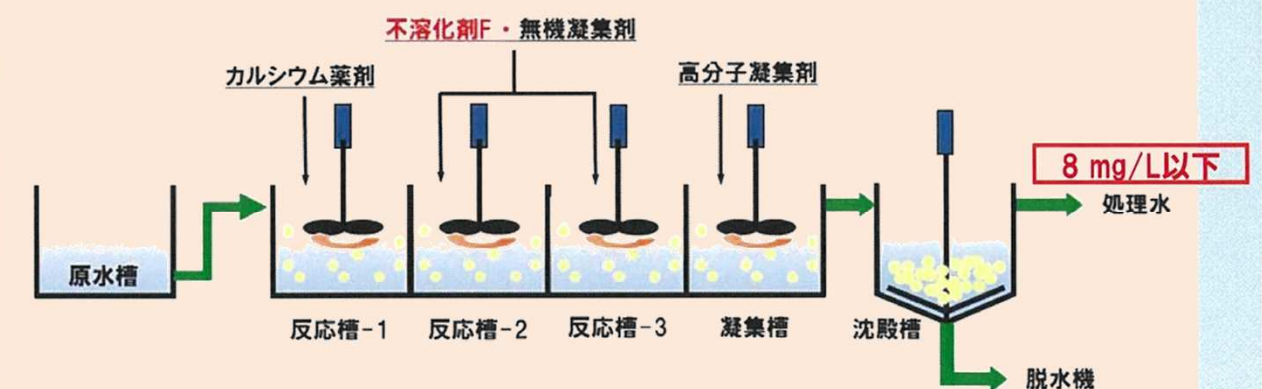
- ・設備投資費用が安価！
- ・設置スペースが約半分！
- ・污泥処分費を削減！
- ・排水基準8mg/Lを保証！



### 特長

従来の1段凝集沈殿処理にフッ素を高度に不溶化させる薬剤を添加するだけで、**排水基準の8 mg/L以下まで確実に処理します。**

### ハイエフN法のイメージ



### ■不溶化剤Fについて

- ・鉍物を主原料とした液体薬品  
(毒劇物および危険物には該当しません。)
- ・一般的な工業薬品を配合した薬品であり、安定供給可能。